

カレーづくり

1 所要時間 5時間

2 服装 活動しやすい服装（長ズボンは必須、長袖は着用が望ましい）

3 準備物

- ・ 利用者 軍手、古新聞
- ・ 施設側 一班ごとの基本貸出し数

品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量
カレー皿	10	ボウル	1	スポンジ	3	洗剤	1
スプーン	10	飯ごう	2or3	ふきん	1	バケツ	1
しゃもじ	1	おたま	1	包丁	3	青ざる	1
鍋	1						

4 活動の流れ（●印は別紙写真資料あり）

係 分	かまど係 (かま도による調理)	用具係 (用具の管理・ご飯炊き)	調理係 (カレー準備・味付け)	その他
0	センター職員による全体説明（小集会場）			
15～	●太薪確保	●用具確認 受け取り	食材受け取り 調理準備	センター職員は、道具の受け渡し終了後、炊事場付近で安全管理を行う。
30～	●かまど組み	●米の準備	●食材切り ●カレー鍋準備	
60～	●ご飯炊き	●ご飯炊き	肉、ゼリー、 福神漬け準備	
90～	●カレー炊き	飯ごうの後処理 食器洗い、点検	●カレー味付け 配膳	
150～	会食			
210～	食器の片付け、清掃 食器点検			指導者による用具の一時点検

5 活動の留意点

(1) 活動計画上の留意点

①班の人数編成について

貸し出す用具は10人分を基準としているが、6～12名程度まで対応可能である。学校の実情や野外炊事以降のスケジュール、そして下に示すメリット・デメリットを考慮の上、編成すること。

班員編成例

A 班員の数→少ない 班の総数→多い

- メリット : 各自に役割が与えられる。
- デメリット : 貸し出し数が増え、食器点検時に時間がかかる。

班員	7	8	10	11
かまど係	2	2	3	3
用具係	3	3	3	4
調理係	2	3	4	4

B 班員の数→多い 班の総数→少ない

- メリット : 貸し出し数が減り、食器点検が早く終わる。
- デメリット : 仕事にあぶれる班員がでてくる。

②雨天時の対応について

雨天時もしくは降雨が予想される場合は、いろりの家と雨天炊事場で活動場所することが可能である。雨天対応を希望する場合は、活動日当日の朝8:30までに宿直または野外活動担当の職員に申し出ること。活動日前日より雨天時の対応を準備したい場合は、活動日前日の夕方の打ち合わせで検討することもできる。

なお、雨天時の対応を行う場合は、活動場所や使用する施設の都合上、通常の活動における役割分担を変更する必要がある。下に示す表は晴天時と雨天時の役割や活動場所の変更例である。

晴天時		雨天時	
役割	主な活動場所	主な活動場所	活動内容
かまど係	野外炊事場	いろりの家	大釜での煮炊き (学級で2～4名)
		雨天炊事場	飯ごうでのご飯炊き (残りのかまど係)
調理係	野外調理場	いろりの家	食材の準備、味付け
用具係	野外活動棟付近 野外炊事場	雨天炊事場	飯ごうでのご飯炊き

③食器点検について

食事が終わった班から使用した食器や調理器具を洗い、指導者による一次点検を受けた後にセンター職員による食器点検を受ける。点検場所は野外活動棟備品倉庫前。食器点検をするセンター職員は学校の規模などに合わせて2～6名程度まで対応可能である。センター職員の食器点検を受けるときは、班員全員が揃っていることを原則とする。食器点検は各班10～15分程度である。

(例) [食器点検の時間の見積もり] 班の総数: 16班 点検するセンター職員: 4人	職員1人あたり4つの班を点検 15分×4班=60分
--	-------------------------------------

(2) 食材保管に関する留意点

- ・ 冷蔵が必要な肉やデザートは本館の野外炊事用食品庫から運搬後、第一調理場にある冷蔵庫で保管すること。

(3) 安全管理上の留意点

- ・ マッチや火の取り扱いには十分に留意すること。マッチの管理は指導者がセンター職員と協力して行うこと。
- ・ 危険な動植物に注意すること。
- ・ 野外炊事場付近は坂道や階段が多いため、転倒に注意すること。

(4) 施設運営上の留意点

- ・ 調理時には生ごみ用金ザルを排水口の上に置き、残菜や野菜の切りくず等を流さないこと。
- ・ 調理時に出た生ごみやその他のごみは、活動終了後、指導者が責任をもって本館裏のごみコンテナに運ぶこと。

6 活動指導資料

	かまど係	指導者の支援	用具係	指導者の支援	調理係	指導者の支援	センター 職員の支援
0	センター職員による全体説明（小集会場）						
15	●太薪受け取り	・ いろいろの家の前の薪置き場まで参加者を誘導	●用具確認受け取り	・ 生徒補助	食材受け取り 調理準備	・ 食材渡し ・ 調理の手順説明	用具貸出し
30	●かまど組み	・ かまど組みの説明 ・ ご飯炊きの経過説明	●米準備	・ お米の配分方法、炊き方説明	●食材切り ●カレー準備	・ 安全管理 ・ 鍋の準備ができたなら、洗い物の指示	炊事場付近で安全管理
60	●ご飯炊き	・ 火加減のチェック ・ 安全管理	●ご飯炊き	・ 火加減等のチェック	肉、デザート、福神漬け準備	・ 冷蔵庫の位置を指示 ・ 冷蔵庫に残っている食材がないか確認	
90	●カレー炊き	・ 安全管理 ・ かまどの片付け方説明	飯ごう後処理 食器洗い	・ 空いた飯ごうの処理を説明 ⇒水で浸しておく	●カレー味付け配膳	・ 味付けの手順説明 ・ 味付け補助	
150	会食						
210	食器の片付け、清掃、食器点検						食器点検

- ・ 活動終了後、食材が入っていたカゴやタッパ等は、本館の野外炊事用食品庫に返却すること。